
開講科目名：財政学研究（4単位）
開設年次：1年 2年 3年
開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻
担当者：片山 和希

《授業の概要》

1. 授業の概要

【授業の目標】

財政のメカニズムや特色を理解する。その理解に立脚して社会が抱える問題に対して財政を通じた問題解決策を考えることができるようになる。そして、自らの考えをもち、それを的確に表現できるようになることが目標です。

【授業の概要】

国や地方自治体などの政府部門をめぐって財政規律が問われる一方で行政改革が進められています。その場合でも、政府部門の諸活動が立脚している制度や考え方が民間企業のそれとは異なる面をもっている点について認識しておくことが重要です。財政現象を捉えるには、財務技術の体系を知っておくことも必要です。本講義では、財政学の基礎知識を確認し、財政について理解を深めます。日本の財政を主に取り上げ、制度、問題の所在、改革動向を理解してもらいます。本講義では、財政学で取り扱われる内容の中でも、予算と租税に重点を置く予定です。また、政府部門に関する改革動向を具体的かつ身近に感じることができるよう地方自治体の財政を積極的に取り上げる予定です。財務技術の面にも言及することになっています。

【授業の内容】

以下のテーマで各テーマについて1～3回講義する予定ですが、受講生の理解状況等に応じて適宜変更していきます。

主に講義形式で授業を進めることにしていますが、受講生からの報告等を行い、コミュニケーションや議論を図る予定です。第1回には講義のガイダンスも行います。

1. 財政とは？
2. 財政の展開
3. 予算
4. 租税の基礎理論
5. 所得税
6. 資産課税
7. 間接消費税
8. 法人課税
9. 地方税
10. 公債
11. 経費
12. 政府間財政関係
13. 自治体財政
14. 公会計改革
15. 予算制度改革

2. 評価方法

試験、小レポート、報告、出席・授業態度、授業時発言等で総合的に評価する予定です。授業の妨げになる行為を禁止します。

《テキスト》

適宜提示します。授業では資料等を配布する予定です。

《参考書》
授業の中で紹介します。